

【別冊】

令和 2 年度 (2021)  
社会福祉法人白日会事業報告



## 令和2年度社会福祉法人白日会事業報告

### I 法人本部

#### 1 ガバナンス（組織統治）の整備

社会福祉法人には法人経営の透明性の確保や高い公益性に基づくガバナンス（組織統治）の確立が要請されており、社会的ルールを遵守し、社会に対して十分な説明責任を果たすため、公正かつ適正な経営を可能とするガバナンスの整備の一環として、次の取組を行いました。

##### ① 「社会福祉法人白日会組織及び事務局規程」の一部改正

事務局職員への給与等は照古苑拠点区分において負担してきましたが、法人本部において行った事務に係る給与を法人本部拠点区分から支給できるように改正し、財務規律の健全化を図りました。

##### ② 「社会福祉法人白日会役員等に対する報酬等に関する規程」の一部改正

理事会等を招集せず書面による決議は、理事会等の決議とみなされ、当該決議に対する法律上の責任を負うこととなります。非常勤役員等の当該行為に対する対価として、報酬を支給できるよう改正しました。

#### 2 役員・評議員等の選任

##### ① 評議員選任・解任委員会委員の選任

令和2年6月23日、理事会の決議の省略により理事の全員の同意、監事全員の異議なしの意思表示を得たので、理事会の決議があったものとみなし、次のとおり選任されました。

再任：渡邊暉也氏（監事）、小郷秀一氏（外部委員）

新任：宮下麻衣子氏（事務局員）

##### ② 第三者委員の選任

令和3年3月5日、第3回通常理事会において次のとおり選任されました。

再任：吉川満璃子氏

新任：堀川 忍氏

#### 3 理事会承認による定年延長

次の者の定年を令和8年3月31日まで延長しました。

荒木優子氏（照古苑副施設長兼ひまわりホーム管理者）

安田小百合氏（照古苑ひまわりホーム看護課長）

#### 4 社会福祉法人白日会の財産状況

別冊 財産目録及び決算報告書のとおり

#### 5 事業

##### (1) 地域における公益的取組

##### ① 生計困難者レスキュー事業

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	16件	19件	9件	—	—

支援件数	13 件	16 件	7 件(1 件)	—	—
支援総額	108,681 円	161,184 円	54,411 円	—	—
支援対象者	10 代	1 人	—	—	—
	20 代	—	—	1 人	—
	30 代	1 人	2 人	—	—
	40 代	2 人	7 人	1 人(1 人)	—
	50 代	6 人	3 人	5 人	—
	60 代	4 人	4 人	2 人	—
	70 代	1 人	1 人	1 人	—
	80 代	1 人	2 人	—	—

※ ( ) 内は、前年度からの継続支援件数。

② 認知症カフェ (通称：ひまわりカフェ)

毎月第3木曜日午後2時～午後4時

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数	12 回	10 回	—	—	—
利用者数	175 人	137 人	—	—	—
備考		台風により8月中止 新型コロナウイルス感染防止対策により3月中止	新型コロナウイルス感染防止対策によりすべて中止		

③ 地域の学習教室

利用する小中学生の希望者がありませんでした。

④ 成年後見人の活動支援及び人材養成

現在、法人に所属する職員で成年後見人として活動している者は2人です。養成のための研修会は、新型コロナウイルス感染防止のため開催が中止となりました。

(2) 監事による監査の実施

① 令和2年度中間会計監査

照古苑での監査を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため書類による監査を実施していただきました。

② 令和元年度会計決算監査

日時：令和2年5月26日(金) 10:00～

場所：照古苑会議室

(3) 理事会

すべての議案及び報告事項は承認されました。

## 第1回書面決議

決議があったものとみなした日：令和2年4月8日（水）

### 議案

- 第1号議案 照古苑水道管漏水防止対策工事に係る契約締結方法等について
- 第2号議案 たんぽぽ保育園給与等支給規則の一部改正について

## 第1回通常理事会

日時：令和2年6月10日（水）18時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

### 議案

- 第1号議案 令和元年度社会福祉法人白日会事業報告について
- 第2号議案 令和元年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認について
- 第3号議案 たんぽぽ保育園就業規則等の一部改正について
- 第4号議案 たんぽぽ保育園給与等支給規則の一部改正について
- 第5号議案 令和2年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第6号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第7号議案 令和2年度たんぽぽ拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第8号議案 定時評議員会の招集等について

### 報告事項

- 報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について
- 報告第2号 理事長専決事項の報告について
- 報告第3号 予備費使用の報告について
- 報告第4号 令和元年度資金運用状況の報告について
- 報告第5号 照古苑水道管漏水防止対策工事に係る契約締結の報告について

## 第2回書面決議

決議があったものとみなした日：令和2年6月23日（火）

### 議案

- 第1号議案 評議員選任・解任委員会委員（監事）の選任について
- 第2号議案 評議員選任・解任委員会委員（外部委員）の選任について
- 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員（事務局員）の選任について

## 第3回書面決議

決議があったものとみなした日：令和2年7月17日（金）

### 議案

- 第1号議案 令和2年度照古苑拠点区分第2次資金収支補正予算について
- 第2号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第2次資金収支補正予算について
- 第3号議案 評議員会の決議の目的である事項（議案）の提案等について

## 第4回書面決議

決議があったものとみなした日：令和2年8月5日（水）

#### 議案

第1号議案 令和2年度たんぽぽ保育園園児室増築工事に係る契約締結方法等について

#### 第2回通常理事会

日時：令和2年11月20日（金）18時00分～

場所：ひまわりホーム地域交流ホール

#### 議案

第1号議案 社会福祉法人白日会組織及び事務局規程規則の一部改正について

第2号議案 照古苑就業規則等の一部改正について

第3号議案 照古苑給与規則の一部改正について

第4号議案 照古苑組織規則の一部改正について

第5号議案 照古苑人材確保に協力のあった職員等への報奨に関する規程の一部改正について

第6号議案 令和2年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について

第7号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第3次資金収支補正予算について

第8号議案 令和2年度たんぽぽ拠点区分第2次資金収支補正予算について

第9号議案 第1回臨時評議員会の招集等について

#### 報告事項

報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について

報告第2号 理事長専決事項の報告について

報告第3号 令和2年度たんぽぽ保育園園児室増築工事に係る契約締結の報告について

#### 第3回通常理事会

日時：令和3年3月5日（金）18時00分～

場所：ひまわりホーム地域交流ホール

#### 議案

第1号議案 令和2年度たんぽぽ拠点区分第3次資金収支補正予算について

第2号議案 令和2年度照古苑拠点区分第4次資金収支補正予算について

第3号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第4次資金収支補正予算について

第4号議案 社会福祉法人白日会第1期長期経営計画について

第5号議案 令和3年度社会福祉法人白日会事業運営計画について

第6号議案 令和3年度法人本部拠点区分資金収支当初予算について

第7号議案 令和3年度たんぽぽ拠点区分資金収支当初予算について

第8号議案 令和3年度照古苑拠点区分資金収支当初予算について

第9号議案 令和3年度ひまわりホーム拠点区分資金収支当初予算について

第10号議案 令和3年度社会福祉法人白日会資金運用計画について

第11号議案 社会福祉法人白日会役員等に対する報酬等に関する規程の一部改正について

第12号議案 たんぽぽ保育園運営規程の一部改正について

- 第13号議案 照古苑宇土市介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所事業（通所型サービスA）運営規程の一部改正について
- 第14号議案 照古苑居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について
- 第15号議案 照古苑給与規則の一部改正について
- 第16号議案 照古苑人材確保に協力のあった職員等への報奨に関する規程の一部改正について
- 第17号議案 外国人技能実習生の監理にかかる基本契約の締結について
- 第18号議案 シャワー型特浴機購入に係る契約締結方法等について
- 第19～20号議案 第三者委員の選任について
- 第21～22号議案 定年延長について
- 第23～29号議案 評議員候補者の推薦について
- 第30号議案 第2回臨時評議員会の招集等について

#### （4）評議員会

すべての議案は承認されました。

##### 定時評議員会

日時：令和2年6月25日（水）15時00分～

場所：ひまわりホーム地域交流ホール

##### 議案

- 第1号議案 令和元年度社会福祉法人白日会事業報告について
- 第2号議案 令和元年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認について
- 第3号議案 令和2年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第4号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第5号議案 令和2年度たんぽぽ拠点区分第1次資金収支補正予算について

##### 報告事項

報告第1号 令和元年度たんぽぽ拠点区分第4次資金収支補正予算の理事長専決報告について

##### 第1回書面決議

決議があったものとみなした日：令和2年7月28日（火）

##### 議案

- 第1号議案 令和2年度照古苑拠点区分第2次資金収支補正予算について
- 第2号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第2次資金収支補正予算について

##### 第1回臨時評議員会

日時：令和2年12月1日（火）15時00分～

場所：ひまわりホーム地域交流ホール

##### 議案

- 第1号議案 令和2年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について
- 第2号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第3次資金収支補正予算について

第3号議案 令和2年度たんぽぽ拠点区分第2次資金収支補正予算について

## 第2回臨時評議員会

日時：令和3年3月18日（木）15時00分～

場所：ひまわりホーム地域交流ホール

### 議案

第1号議案 令和2年度たんぽぽ拠点区分第3次資金収支補正予算について

第2号議案 令和2年度照古苑拠点区分第4次資金収支補正予算について

第3号議案 令和2年度ひまわりホーム拠点区分第4次資金収支補正予算について

第4号議案 社会福祉法人白日会第1期中長期経営計画について

第5号議案 令和3年度社会福祉法人白日会事業運営計画について

第6号議案 令和3年度法人本部拠点区分資金収支当初予算について

第7号議案 令和3年度たんぽぽ拠点区分資金収支当初予算について

第8号議案 令和3年度照古苑拠点区分資金収支当初予算について

第9号議案 令和3年度ひまわりホーム拠点区分資金収支当初予算について



## II 照古苑事業報告

### 1 重点課題

#### (1) サービスの質の向上

##### ① 委員会活動

委員会名	構成人数	開催回数
感染管理委員会	8名	10回
安全対策委員会	12名	11回
身体拘束の廃止を検討する委員会	12名	11回
褥瘡(シヨクワ)委員会	8名	11回
看取り検討委員会	7名	4回
照古苑祭実行委員会	19名	0回
新型コロナウイルス感染防止対策委員会	9名	25回

##### ② 研修実績

#### ア 職場内研修

##### i 時間外研修

研修名	期日	参加人数	備考
安全対策研修 リスクの管理・予防策を考える 身体拘束の適正化のための研修	8月19日 9月9日	144	全職員対象
感染症予防研修	10月28日	100	全職員対象
ハラスメント予防研修	3月24日	94	全職員対象

##### ii 時間内研修

研修名	期日	参加人数	備考
人事評価研修（前期）	5月12日	0	コロナ対策により中止
	5月13日	0	
人事評価研修（後期）	10月7日	30	副主任以上 10/13～10/15は、録画再生研修
	10月13日	13	
	10月14日	8	
	10月15日	3	

#### イ 外部派遣研修

研修名 (オンライン研修)	期日	参加人数	主催者名
檜扇の会 総会	6/30	1	熊本県老人福祉施設女性管理者の会
甲種防火管理新規講習	10/15、16	1	宇城広域連合消防本部

安全衛生管理講習会	11/2	1	熊本労働基準監督署
檜扇の会 県南豪雨災害支援報告とオンライン研修会	11/6	1	熊本県老人福祉施設女性管理者の会
福祉サービス苦情解決事業 第三者委員研修会	11/30	2	熊本県社会福祉協議会
熊本県 養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修	12/14、15、1/26	1	熊本県社会福祉士会
檜扇の会 第2回オンライン研修会	1/14	1	熊本県老人福祉施設女性管理者の会
認知症疾患医療センター全国研修会三重大会	1/15、16	1	認知症疾患医療センター全国研修会
介護従事者認知症研修会	1/19	3	
監事専門講座	1/20	2	全国社会福祉協議会
令和2年度 喀痰吸引等研修	1/29～	2	熊本県社会福祉協議会
地域共生社会推進人材養成研修会	2/1	1	熊本県社会福祉協議会
ピンチはチャンス～今こそ学びたい多職種連携の新しいカタチ～	2/2	3	熊本県介護支援専門員
同一労働同一賃金・パワーハラスメント対策等説明会	2/3	1	熊本労働局
全国地域包括・在宅介護支援センター研修会	2/8	1	全国地域包括・在宅介護支援センター
「高齢者施設の感染防止対策」オンライン研修	2/8、15、19	1	熊本県健康福祉部長寿社会局
新しい生活様式における福祉施設のあり方について	～5/14	1	全国老人福祉施設協議会
「高齢者施設の感染防止対策」オンライン研修	2/8	2	熊本県健康福祉部長寿社会局
成年後見制度利用促進研修会	2/22	1	熊本県健康福祉部
地域連携会研修会	2/22	1	宇城総合病院
熊本地域リハビリテーション支援協議会 特別講演	2/26	1	熊本県医師会
ふくしの保険セミナー	3/2	2	損害保険ジャパン
医療的ケア教員講習会	3/6	1	熊本介護人材養成センター
令和2年度地域リハビリテーション研修会	3/12	5	宇土市
研修会（認知症）	3/13	3	球磨圏域介護支援専門員協会
令和2年度 地域包括ケア担当職員セミナー	3/16～18	3	一般財団法人長寿社会開発センター
ナイトセミナー	3/17	2	訪問看護

専門級試験 追加研修	3/17	1	一般社団法人シルバーサービス振興会
熊本県認知症ケア専門士会研修会	3/20	1	熊本県認知症ケア専門士会
介護報酬改定説明会	3/27	4	熊本県介護支援専門員協会
令和3年度介護報酬改定(栄養関連)研修会	3/31	2	日本栄養士会

### ③ 施設環境の整備

新型コロナウイルス感染防止対策として、空間除菌脱臭機を照古苑に20台、ひまわりホームに9台を導入設置しました。

家族の直接面会ができないため、タブレットやスマートフォンなどリモート面会ができるように情報通信機器の整備を行いました。

### ④ 不適切ケアに関する職員アンケートの実施

第1回：6月に「虐待の芽チェックリスト」の職員アンケートを実施しました。

令和元年度に比べ改善がみられました。

第2回：9月に「身体拘束・虐待防止20のチェックポイント」の職員アンケートを実施しました。20の項目について振り返りを各課で行いました。

## (2) 地域における公益的取組の推進

「I 法人本部 5事業(1)地域における公益的取組」に記載。

### (3) 信頼と協力を得るための情報発信

- ① 広報「照古苑」の毎月発行
- ② ホームページへの新着情報掲載
- ③ 照古苑祭：新型コロナウイルス感染防止により中止

### (4) 人材の確保に向けた取組の強化

① 次の表「介護保険事業収益と人件費」の人件費の額は令和2年度においても増加しています。

特に、令和2年度は同一労働同一賃金として見直した就業規則及び給与規則により、非常勤職員の給与改善効果によるものです。

介護保険事業収入と人件費

(単位：円、%)

拠点	年度	H30年度	R1年度	R2年度
照古苑 拠点区分	介護保険事業収入(A)	701,390,339	710,823,406	746,428,703
	人件費(B)	503,174,681	512,139,366	535,573,168
	介護保険事業収入と 人件費の割合(B/A)	71.7	72.0	71.8

ひまわり拠点区分	介護保険事業収入 (A)	227,706,017	225,787,400	243,403,538
	人件費 (B)	180,873,278	189,004,860	188,254,086
	介護保険事業収入と人件費の割合(B/A)	79.4	83.7	77.3

## ② 資格取得支援制度の実施

研修名	期間	参加人数	主催者名
社会福祉士通信課程短期養成コース	4/16～1/15	1	中央福祉学院
社会福祉主事資格認定通信課程春季コース	5/15～3/31	1	中央福祉学院
介護初任者研修	10/7 ～ 12/30	1	合同会社 熊本介護人材養成センター
介護初任者研修	1/6～3/31	1	合同会社 熊本介護人材養成センター
介護支援専門員実務研修受講試験	10/11	1	福祉・人材センター

## ③ 福利厚生等処遇の改善

ア 職員一人ひとりの年次有給休暇日数50%以上の取得

令和2年(1月～12月)に年次有給休暇を10日以上付与された職員の取得状況は、全員が5日以上取得できました。全職員の平均取得状況は、次の表のとおりでした。

部署		取得率					
		令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
照古苑	総務部	事務課	54.7%	47.6%	—	—	—
		地域福祉連携課	53.3%	44.8%	—	—	—
		地域包括支援センター	47.3%	35.8%	—	—	—
	在宅部	デイサービス課	31.8%	33.7%	—	—	—
		ショートステイ課	33.1%	33.6%	—	—	—
		機能訓練課	27.8%	41.6%	—	—	—
	看護部	居室介護支援課	47.3%	38.5%	—	—	—
		看護課	47.1%	77.9%	—	—	—
	施設部	栄養課	36.0%	60.2%	—	—	—
		介護1課	39.5%	41.8%	—	—	—
		介護2課	44.2%	38.5%	—	—	—
			介護3課	44.6%	40.5%	—	—
照古苑全体		42.2%	43.3%	—	—	—	
ひまわり	総務課		38.5%	55.2%	—	—	—
	施設課	がんかい	33.2%	49.2%	—	—	—
		たちおか	31.0%	37.1%	—	—	—

	せんば	38.1%	46.0%	—	—	—
	とどろき	44.8%	43.0%	—	—	—
	看護課	47.6%	49.3%	—	—	—
	デイサービス課	59.8%	56.2%	—	—	—
	栄養課	43.6%	74.2%	—	—	—
ひまわり全体		41.8%	49.3%	—	—	—
総計		41.5%	44.9%	—	—	—

④ ストレスチェックの実施

外部機関に委託：MCサポートセンター

対象職員：163人

実施期間：8月3日～8月10日

メンタルヘルス不調の未然防止を目的に、ストレスチェック調査票を配布し、ストレスの程度を検査し、結果を受検者全員に通知しました。

⑤ 11月11日（水）ハローワーク宇城において、福祉のお仕事ミニ面接会に参加しました。結果は、2人の介護職員が採用できました。

⑥ ハラスメント対応マニュアルを策定し、窓口担当者4人の選任及びハラスメント相談票受付箱の設置を行いました。

⑦ 外国人技能実習生を確保するため、3月5日理事会で契約先監理団体承認後、監理団体と令和3年以内にベトナムから介護職員2人の確保について協議を行いました。

(5) 健全な財務規律の確立

経理規程を遵守し、支出面ではコスト比較の徹底により経費の節減に努めました。

特に、当年度は収入増加を図るため、入所者の長期入院対策や施設入所待機者のショートステイの長期利用を勧めた結果、利用率が上がり収入を増やすことができました。

(6) 照古苑移転改築事業の推進

① 改築のための施設整備積立の推進

施設整備積立資産の積立状況

年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
残高	236,248,150円	445,986,900円	467,872,806円	—	—

② 移転先候補地の選定

当面は、令和4年度の養護老人ホーム芝光苑の民間移譲に関する公募を待ち、当法人が選定された場合、芝光苑敷地を移転候補地とするため、それまでの間は養護老人ホーム及び軽費老人ホームの経営について資料等による検討分析を行いました。

③ 事業計画作成に向けた諸条件の分析、資料の収集

当初、ユニット型では職員配置人員的に厳しいため熊本県の補助金を受けない従来型個室の建設を想定していましたが、国のユニットケアに関する入居可能人数要件が、人手不足を考慮し1ユニット10人以内が15人以内に緩和されたことから、今後、補助金を受けられるユニット型も含め検討することとしました。

## 2 特別養護老人ホーム照古苑

定員：110人（多床室31室、個室1室）

入所者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入所者及びご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。

夜間は、夜勤職員5人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。

入所者の状況において大きな変化は見られないものの、「(6)入所待機者の状況」において、平成27年度から入所要件が変更されたことから4年連続減少傾向にありましたが、令和元年度は106人、当年度111人と待機者は増加となっています。近年は有料老人ホームの新設増加による減少の傾向にありましたが、有料老人ホームの利用料負担の過大さから、特別養護老人ホームへの申し込みが増えてきているような状況です。

### (1) 入所者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度			在籍期間（年）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R2年度	18	93	111	84.7	91.2	89.3	4.2	4.4	4.4	3.8	4.5	4.4
R1年度	18	92	110	84.6	88.9	86.8	4.1	4.2	4.2	3.5	3.8	3.6
H30年度	18	92	110	86.1	89.1	87.6	4.2	4.2	4.2	3.0	3.5	3.2
H29年度	18	92	110	87.1	89.2	88.4	4.4	4.2	4.2	3.3	3.8	3.7
H28年度	17	93	110	84.5	88.9	88.2	4.1	4.1	4.1	3.8	4.4	4.1
H27年度	18	92	110	82.8	89.0	87.9	4.1	4.2	4.2	3.6	7.0	6.4

### (2) 入退所の推移

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
退所者数	22人	24人	28人	27人	20人	11人
入所者数	23人	24人	28人	26人	20人	13人

### (3) 新規入所者の状況

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
平均介護度	3.96	3.64	4.14	4.04	4.05	4.31
平均年齢	87.6	91.3	88.5	86.3	87.3	86.5

## (4) 入所前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住 (グ ループ°ホーム 等)	その他 (特養他)	合計
R 2年度	0人	6人	5人	2人	0人	0人	13人
R 1年度	2人	6人	4人	4人	1人	3人	20人
H30年度	7人	5人	8人	5人	1人	0人	26人
H29年度	7人	4人	7人	9人	0人	1人	28人
H28年度	8人	3人	4人	6人	1人	2人	24人
H27年度	9人	2人	7人	3人	0人	2人	23人
H26年度	4人	4人	6人	3人	3人	1人	21人

## (5) 退所の事由

年度	看取り	急変	入院死亡	入院退所	在宅、有料 老人ホーム他	合計
R 2年度	7人	1人	1人	2人	0人	11人
R 1年度	8人	5人	1人	5人	1人	20人
H30年度	20人	0人	0人	6人	1人	27人
H29年度	11人	3人	3人	11人	0人	28人
H28年度	15人	1人	2人	4人	2人	24人
H27年度	8人	3人	5人	5人	1人	22人
H26年度	12人	4人	1人	3人	2人	22人

## (6) 入所待機者の状況

年度末 現在	性別 (人)			平均年齢 (歳)			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R 2年度	47	69	116	82.8	86.4	85.7	3.61	3.33	3.44
R 1年度	50	56	106	82.0	86.1	84.9	3.59	3.18	3.37
H30年度	36	51	87	80.8	88.5	85.3	3.51	3.43	3.46
H29年度	33	56	89	81.6	86.6	84.7	3.78	3.05	3.32
H28年度	29	68	97	83.0	87.0	85.8	3.61	3.12	3.26
H27年度	29	67	96	83.3	85.8	85.1	3.62	2.83	3.07
H26年度	38	83	121	83.9	86.5	85.7	3.10	2.87	2.94

## (7) 年間平均稼働率

単位：％

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	98.2	99.0	99.1	98.9	99.2	99.8	99.7	99.8	99.5	98.7	100.7	100.9	99.4
R1年度	99.6	99.4	100.0	99.3	98.7	99.7	99.4	98.7	99.4	98.4	98.0	98.2	99.1
H30年度	98.7	98.7	97.6	98.6	98.5	98.5	98.9	98.9	99.1	99.0	97.4	99.1	98.6
H29年度	100.0	99.1	98.9	97.9	99.0	98.9	98.0	97.0	97.2	97.1	98.9	98.1	98.3
H28年度	98.3	98.5	99.0	99.4	98.8	99.1	98.3	97.8	98.5	97.9	98.7	98.5	98.6
H27年度	98.1	99.2	98.1	97.5	98.0	98.0	98.0	97.0	97.0	98.3	97.8	97.8	97.9

## (8) 安全対策

## 事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	6	30	14	15	—
転落	11	14	6	12	—
その他	55	62	43	35	—
(骨折)	(5)	(5)	2	(4)	—
外傷	130	171	120	103	—
薬関係	52	52	48	44	—
食事関係	18	22	3	8	—
離設	3	5	3	0	—
医療関係	32	30	9	8	—
合計	307	386	261	229	—
市町村報告	11	16	23	52	—
インシデント	295	519	334	404	—

## (9) 介護保険事業収入と人件費

(単位：円、％)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収入(A)	458,746,781	465,639,681	474,793,707	490,442,464	—
人件費(B)	327,867,879	302,547,788	341,021,887	350,533,869	—
介護保険事業収入と人件費の割合(B/A)	71.5	65.0	71.8	71.5	—

## (10) 保健所に報告したインフルエンザ感染状況

当年度中のインフルエンザの感染者は、職員及び入所者ともにありませんでした。

## (11) 新型コロナウイルス感染症対策

職員及び入所者の陽性者はありませんでした。

令和2年4月、緊急事態宣言が発出され、すぐに「対策本部」を立上げ、対策強化、施設運営の在り方などの検討を行いました。リスクの高い高齢者の方の介護施設であることから



「感染者を出さない」を目標に予防対策の強化に努めました。

#### 1. 予防対策

対策本部では、各部署での取組をとりまとめ、県のリスクレベルに応じ対策強化を行いました。基本予防策に加え、職員の更衣室・休憩所の分散、休憩時間をわける、黙食、飛沫防止シート設置などを実施。1月から職員全員にフェイスシールドを配布し、着用させました。

ご利用者（ご入居者）にも、食事の時の席の配置（対面とならないよう工夫）、1月からマスクを着用いただきました。

ご家族には、昨年2月から面会制限をお願いしました。7月からリモート面会を実施しました。10月からは窓越しでの面会（携帯電話を活用）を開始しました。「直接姿が見られて安心しました。」とのお言葉をいただきました。

#### 2. 発生に備え

予防に加え常に検討してきたのが発生時の体制、準備です。必要な物品購入、陽性者が発生した場合の体制・動きの検討。発生直後のゾーン分け、職員の防護訓練、併設事業（通所、ショート等）を休業にする想定などを検討しました。内容をご家族、関係者各位に通知しました。

#### 3. 新たな取組

コロナ禍で、全てを中止制限にするのではなく、工夫し行うという視点を加えました。

会議や研修のオンライン化。面会制限があるため、状況をお知らせできたらとご家族へ、入所者のご様子をお便りさせていただきました。

#### 4. 法人内・地域・関係機関との連携

対策本部は4月～1年間で25回開催。部署間で課題と目標を共有、法人全体で対策に取り組んできました。職員全体への周知の難しさなどもありましたので、見直しながら取り組みました。

### 3 照古苑ショートステーション（短期入所）

定員：20人（2人部屋7室、個室6室）

従来、在宅部としてデイサービスと兼務の職員配置を行っていましたが、介護業務の相互協力及び応援体制の強化を図ることを目的として、令和3年1月より施設部として組織見直しを行いました。日中は5人体制、夜勤はショートステーション専属で1名配置し、利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

また、前年度から常勤の理学療法士1名を配置し、利用者の個別機能訓練の充実に努めました。

#### (1) 利用状況

年間の平均稼働率は、前年度と比較すると6.9ポイント増となりました。高い稼働率を示した熊本地震があった平成28年度を除くと、安定した利用状況でした。

利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービス充実に努め、徐々に利用者が増加しています。更なる利用者増を目指し、新規の利用者を獲得すべく居宅介護支援事業所等と、密接な連携を図っていきます。

また、利用者の平均介護度は若干低下傾向にあり、要支援者を含む介護度の低い方々の利用増に努め、家族介護の負担軽減につながることを期待します。

表1 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	86.2	75.7	83.7	77.1	83.1	84.9	70.0	69.0	83.6	85.5	85.0	72.9	79.6
R1年度	74.5	77.5	72.5	67.5	77.5	69.0	68.0	61.5	62.5	72.5	80.5	89.0	72.7
H30年度	66.3	72.1	81.0	79.2	76.3	81.0	73.4	77.0	75.3	61.5	71.8	63.4	73.2
H29年度	68.2	68.2	61.5	73.4	82.7	76.2	68.7	81.3	77.3	86.5	66.8	70.8	73.5
H28年度	82.3	89.4	83.9	85.9	87.6	89.4	78.6	69.2	72.6	75.0	80.0	67.0	80.1
H27年度	75.0	71.5	55.0	60.0	60.0	55.0	61.0	71.2	70.3	74.5	78.3	73.9	67.1
H26年度	57.5	59.0	58.0	66.5	75.0	81.5	82.5	78.0	77.5	72.0	82.0	72.5	71.8

表2 利用者の平均介護度

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
平均介護度	2.4	2.1	2.0	2.0	2.1	2.3

(要支援1、2を除く。)

#### (2) 介護保険事業収入と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収入(A)	55,050,401	54,617,099	55,222,081	64,565,677	—
人件費(B)	44,075,193	45,750,239	39,510,199	28,609,285	—
介護保険事業収入と人件費の割合(B/A)	80.1	83.8	71.5	44.3	—

(3) 事故件数

事 故	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
転 倒	5	4	9	11	—
転 落	3	6	6	7	—
その他	4	7	8	7	—
(骨 折)	(1)	(1)	(12)	0	—
外 傷	3	5	3	10	—
薬関係	1	(1)	21	16	—
食事関係	0	(3)	2	2	—
離 設	0	2	0	0	—
医療関係	0	0	2	0	—
合 計	16	24	54	53	—
市町村報告	3	2	12	11	—
インシデント	3	52	140	77	—

#### 4 照古苑デイサービスセンター（通所介護）

定員：40人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士2名及び言語聴覚士1名にパート（週4日6時間勤務）の理学療法士1名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練を提供しています。令和3年度の介護報酬改定により、更に利用者の家庭環境などを考慮したりハビリを課せられています。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

##### （1）利用状況

令和2年度は、コロナウイルスの感染予防として有料老人ホームなどに入所している利用者の利用中止が続き、個人として利用を中止される利用者も見られました。デイセンターでは感染予防対策を徹底し、デイサービスの営業を継続しました。

また、事業対象者や要支援者には、ウェルネス照古苑いきいき道場を利用させていただいており、要介護から要支援、要支援から要介護へと変更となる利用者にとっては、同じ職員の下でサービスを継続できる安心感につながっているものと思います。

大規模事業所になると報酬単価が大きく減少することもあり、今後も計画的に、通常規模型の月平均延べ利用者数を750人以下に誘導していきたいと考えます。

表1 1日当たりの平均利用人数

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	28.2	28.6	31.8	31.2	30.8	30.6	33.2	31.2	31.2	24.7	27.0	32.2	30.1
R1年度	31.2	30.5	29.4	29.3	30.0	32.4	32.3	30.4	29.8	28.2	30.9	26.1	30.0
H30年度	30.6	29.3	31.8	33.2	32.2	34.8	33.7	34.7	34.6	30.6	32.2	31.8	32.5
H29年度	34.8	36.0	35.2	34.0	33.3	34.2	34.2	30.7	31.6	30.2	31.9	31.6	33.1
H28年度	30.9	36.5	36.4	38.3	38.0	38.2	36.8	37.4	37.0	37.8	36.5	37.2	36.8
H27年度	37.3	37.0	38.2	37.8	38.0	38.8	39.7	40.1	39.7	37.7	35.4	36.0	38.0
H26年度	37.5	37.5	37.4	35.6	37.0	37.5	38.3	39.8	39.0	32.5	33.8	38.0	37.0

表2 利用者の平均介護度

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
平均介護度	1.3	1.6	1.7	1.6	1.7	1.9

##### （2）介護保険事業収入と人件費

（単位：円、％）

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収入(A)	94,548,606	102,654,179	97,695,688	101,984,592	—
人件費(B)	80,929,342	73,362,746	69,883,070	80,642,754	—
介護保険事業収入と人件費の割合(B/A)	85.6	71.5	71.5	79.1	—

※ ウェルネス照古苑いきいき道場を含む。

(3) 事故件数

事 故	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
転 倒	7	15	3	14	—
転 落	0	1	2	0	—
その他	8	0	2	0	—
(骨 折)	(0)	(0)	(0)	3	—
外 傷	12	8	6	10	—
薬関係	0	0	1	0	—
食事関係	0	1	0	1	—
離 設	1	0	0	0	—
医療関係	0	0	0	0	—
合 計	28	25	14	28	—
市町村報告	3	5	4	7	—
インシデント	5	45	17	17	—

※ ウェルネス照古苑いきいき道場を含む。

4-2 ウェルネス照古苑いきいき道場（宇土市介護予防・日常生活支援総合事業）

事業対象者・要支援者の介護予防を目的にウェルネス照古苑いきいき道場を平成28年10月に開設し4年半が経ちました。台所や浴室も整備し、利用者が自立した生活が出来るよう生活機能に着目したリハビリを行っています。開設からの延べ利用者数は230名程となっています。宇土市での「いきいき道場」の知名度も上がってきているようです。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策として、利用を中止される利用者も多い状況でした。

(1) サービスA（月～土）

総合事業において、入浴サービスを行わない事業所が多くある中、いきいき道場では利用者のニーズを尊重し、入浴・買い物などの生活支援、認知症予防のための脳の活性化訓練、潜在能力の引き出し、筋力の維持・向上のためのリハビリなど多彩な内容を2名～3名の職員で行っています。また、サービスC型を卒業された利用者の多くがサービスA型に移行され継続利用されています。今後もサービスの質を落とすことなく、収益増を図っていきます。

表1 1日当りの平均利用人数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R 2 年度	5.0	4.9	6.8	7.0	5.9	6.5	7.2	7.8	7.3	6.3	6.4	7.3	6.5
R 1 年度	8.6	8.3	8.2	7.9	6.7	8.0	7.5	7.6	7.2	6.4	6.2	5.0	7.3
H30 年度	7.6	7.6	7.2	7.5	8.0	8.2	9.0	9.2	8.6	8.1	8.5	8.8	8.2
H29 年度	0.4	0.9	1.5	1.8	1.4	1.9	2.6	4.1	4.4	5.1	5.4	6.4	3.0

(2) サービスC (月・水・金)

介護保険下では要支援の利用者に対して通所介護の利用には厳しい規定が設けられていますが通所リハビリに対しては要支援者でも利用することが出来ます。リハビリを希望する要支援者の多くは通所リハビリへ流れていく傾向があり、C型の利用者数の増加は見られませんでした。更に、C型にはリハビリの専門職の配置が義務付けられており理学療法士を1名配置していました。そのため、少ない理学療法士の有効活用を考えC型は令和3年の3月をもって終了することとなりました。

表2 1日当りの平均利用人数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	3.1	3.2	4.1	4.1	4.2	4.5	3.8	3.2	3.2	1.6	1.0	0.0	3.0
R1年度	3.1	2.7	3.4	3.3	2.2	2.2	3.3	3.6	4.3	3.5	2.8	3.5	3.2
H30年度	6.6	6.9	6.2	5.9	4.9	4.4	3.7	4.7	4.5	3.8	4.1	4.0	5.0
H29年度	1.7	1.8	2.7	3.2	4.8	5.3	6.1	6.6	5.6	5.2	4.5	3.9	4.3

(3) 自費利用 (月～土)

総合事業は原則週1回利用と回数制限があり、回数増を望まれる利用者に対しては自費利用にてサービスの受け入れを行っています。自費利用は家計への負担を考慮し、極力単価を抑えて、いきいき道場・照古苑デイサービスセンター・ひまわりデイサービスセンターの利用者に限り利用をしていただいています。要介護の利用者も限度額が足りず自費を週1回利用されています。

表1 1日当りの平均利用人数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	3.0	3.5	4.6	4.2	2.9	4.0	4.0	4.1	4.8	3.9	3.5	3.8	3.8
R1年度	4.1	4.3	4.4	4.0	3.3	3.9	4.0	4.2	3.6	3.4	3.3	2.2	3.7
H30年度	4.0	3.6	3.2	3.4	3.4	3.7	3.4	3.5	3.2	2.6	3.5	3.5	3.4
H29年度	2.0	1.6	2.0	2.4	2.7	3.0	3.3	3.4	3.0	2.1	2.3	3.0	2.5

## 5 照古苑居宅介護支援事業所

当事業所は、5名の介護支援専門員（うち主任介護支援専門員4名）を配置して、介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の維持」及び「自立支援」を基本とし、常に利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し支援を行ってきました。

### (1) 支援状況

- ① 法令を遵守し、ご利用者・ご家族が必要としている介護保険制度上のサービス事業所の内容や情報提供を行い、希望するサービス種類や事業所を適切に選択できるように訪問や相談を行い、サービス事業所との連携共有を努めました。また新型コロナウイルス感染予防として感染症の予防及び拡大防止の対策を行い感染症における研修参加や業務に努めました。
- ② 安定した収益とし利用者数の確保として、令和2年度プラン総数は、年間1,365件、月平均114件（予防2件）の実績を調整しました。

今後も、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者が可能な限り自宅で自立した生活を営むことができるように支援してまいります。

また、地域包括支援センターとも連携を図り、困難事例にも迅速に対応してまいります。

表1 年間介護度別の支援件数

年 度	事 業 対象者	要支援			要介護						合計
		1	2	計	1	2	3	4	5	計	
令和2年度	12	13	3	28	626	332	252	129	26	1,365	1,393
令和1年度	26	23	0	46	610	284	226	74	16	1,210	1,238
平成30年度	34	39	6	79	653	293	160	96	11	1,213	1,292
平成29年度	9	63	33	96	627	309	134	148	36	1,254	1,359
平成28年度	0	115	28	143	679	280	133	138	15	1,245	1,388
平成27年度	0	21	26	47	563	172	114	116	47	1,012	1,059

表2 登録者数と給付請求件数

年 度	登録者数			支援実績件数（請求分）	
	要介護者	要支援者	事 業 対象者	要介護者	要支援者 (事業対象者含 む)
令和2年度	125	1	1	114	2
令和1年度	113	2	2	101	4
平成30年度	115	4	3	101	4
平成29年度	114	4	2	105	7
平成28年度	125	9	—	105	12
平成27年度	94	3	—	84	4

表3 年間事業者別利用状況

年 度	訪問介護	通所介護	通所リハ	短期入所	福祉用具	その他
令和2年度	38	90	9	24	70	12
令和1年度	32	90	8	22	57	12
平成30年度	36	84	10	21	50	12
平成29年度	45	90	10	20	55	10
平成28年度	44(7)	88(13)	10(3)	17(0)	56( 3)	8(0)
平成27年度	33(3)	68(15)	10(5)	15(0)	42( 7)	10(0)

※ ( ) は要支援者の内訳。

※その他は定期巡回、訪問看護、訪問リハ、訪問入浴等

(2) 介護保険事業収入と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収入 (A)	19,768,200	19,045,280	19,093,950	22,125,980	—
人 件 費 (B)	16,887,334	18,903,141	19,450,400	22,096,345	—
介護保険事業収入と 人件費の割合 (B/A)	85.4	99.3	101.9	99.9	—

(3) 重点項目への取り組み

① 在宅生活を継続するための支援

地域包括支援センター、民生委員、区長、警察、自治会、サービス提供事業所等、地域の関係機関で構成する「SOSネットワーク会議」や「見守りネットワーク会議」への参加を計画していましたが、当年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、殆どの会議へ参加ができていない状況でした。次年度はZoom等の活用にて各関係機関との連携を図り、利用者の安全確保体制をしていきたいと思えます。

② 医療機関との連携

医療ニーズの高い利用者には、入退院時のカンファレンス等に積極的に参加し、主治医や訪問看護との連携を図り、退院しても利用者自身が安心して在宅生活が暮らせるよう支援提供を努めました。

③ 関係機関との連携

地域ケア会議に積極的に参加し、個別事例等に対し、多職種による検討や情報共有を図り、問題解決や主任ケアマネとして参加されるケアマネに対し助言や援助を行うことで適切に自立支援の理解が図れるよう努めました。

④ 職員の資質向上

多様化する介護保険制度に対応できるよう、「Ⅱ照古苑1重点課題②研修実績」のとおり研修参加において集合式での参加は難しい状況でありましたがZoomにおける研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めました。



## 6 宇土市地域包括支援センター

当センターは、公正・中立の立場から、地域支援事業10事業、介護予防支援等としてケアマネジメント業務、計11事業を受託しています。設置から14年目を迎え、機能役割も多様化し、地域支援体制の構築に努め運営に努めました。

- 1 地域支援事業
  - (1) 地域包括支援センター業務
    - ア 総合相談支援事業
    - イ 権利擁護事業
    - ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業
  - (2) 地域ケア会議推進事業
  - (3) 認知症総合支援事業
    - ア 認知症地域支援・ケア向上推進事業
    - イ 認知症サポーター養成事業
    - ウ 認知症高齢者見守り事業
    - エ 認知症初期集中支援推進事業
  - (4) 生活支援コーディネーター業務
  - (5) 在宅医療・介護連携推進事業
- 2 介護予防支援等（要支援1・2、事業対象者のケアマネジメント業務）

### (1) 職員配置

令和2年度末時点で、保健師(2人)、看護師(2人)、社会福祉士(4人)、主任介護支援専門員(3人)、認知症支援推進員(看護師1人兼務)、生活支援コーディネーター(保健師1人兼務)、事務員(1人)、計12人を配置し、専門性を強化し運営しました。

### (2) 活動実績

#### ① 地域包括支援センター業務

##### ア 総合相談支援事業

相談対応件数は年間1,383件で、昨年よりも274件増加。事務所に専門職1名以上が待機する体制をとりました。新規相談は224件。啓発活動としては、年度当初に集中的に51箇所を訪問。新型コロナの感染動向を見ながら実施しました。地域をネットワークの面ととらえ「顔の見える連携」を意識した一方で、感染予防にも十分に注意して活動しました。

初回相談は月平均18.7件、相談者も別居家族(県外等)や甥姪、知人、事業所等多様化しており、本人の生活実態の情報が少ない中、介入までの調整に時間を費やす事例が増えています。加えて、家族力、地域力の低下が問題解決の手がかりを難しくしている状況があります。活動形態として、訪問相談対応が491件と昨年よりも66件増えていますが、全体の35.5%で昨年の38%からやや減少、電話相談支援が366件から596件とかなり顕著に増え、新型コロナ感染予防対応の結果が出ています。

包括支援センターの特徴である24時間相談受付体制として、夜間休日は専門職が電

話をうけ、時間外相談件数は151件と増加しています。内容的には緊急性を要するものは少なく、状況判断ができない方や社会との繋がりが薄い方達からの相談が多くみられます。また65歳以上の総合相談窓口というフレーズから、本来、警察や弁護士、不動産、病院等へ相談すべき内容が、包括に振り分けられる現状もあり、関係機関へ更なる周知を行い、理解を深めていきたいと思えます。

#### イ 権利擁護事業

虐待通報は8件。うち虐待認定は1件。虐待認定はなくとも虐待疑いとして計画作成や対応、市と会議等を実施しました。その他に、高齢者虐待防止の啓発チラシを作成して、宇土市の広報紙へ折り込みました。また、宇土市のホームページやSNS（LINE）にも掲載し若い世代へ啓発ができるように取り組みました。

困難事例対応件数は161件。認知症、独居、家族関係の悪化、地域からの孤立、老々介護等の多問題ケースが増えており、地域を含め関係機関との連絡、調整を図っています。また、担当者だけでなく、毎月のケース点検や朝のミーティング等にて全職員で共有、検討、対応をしています。

成年後見制度に関わる相談対応は10件。関係機関や関係者と調整を図り、親族申立が困難な場合は市長申立てに繋げました。

消費者被害防止の取り組みでは、市内の居宅介護支援事業所へ消費者被害等の情報をメールで共有する体制を構築し、共有を図りました。

#### ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

日常的個別指導・相談（支援困難事例含む）は延314件。

包括・居宅介護支援事業所連絡会は、昨年度同様に居宅介護支援事業所が主体的に活動できるように協力体制を図りました。また、新型コロナ禍において年度途中からオンライン（Zoom）にて開催しました。その他、居宅介護支援事業所（11事業所）へ円滑な連携を図るためのヒアリングで意見交換を実施し、ケアマネジメントでの悩みや困っていること、包括への要望を聞き取りました。各居宅介護支援事業所に共通する内容については、包括・居宅介護支援事業所連絡会で共有を図りました。

### ② 地域ケア会議推進事業

月1回2事例の19件実施。

新型コロナの影響にて5月と8月の開催ができませんでしたが、10月よりオンライン会議（Zoom）での開催へ工夫を図りました。開催においては、事前資料を基に課題の整理や検討すべき論点を整理したうえで会議進行を行い、会議後に事例提供者より取組目標や3か月後の評価を提出してもらい、自立支援及びQOLの向上を目指しました。

### ③ 認知症総合支援事業

#### ア 認知症地域支援・ケア向上推進事業

初回相談は23件。年間の対応件数は925件となっております。

今年度はコロナ感染予防対策とし、例年の事業を大幅に修正しました。

地域住民向けに開催している認知症フォーラムは認知症の人やその家族に関わる知識の普及啓発を目的として、うと広報2月号に資料を折り込みました。介護事業所や老人センター等に配布し、宇土市のホームページにも掲載されております。

介護従事者研修会はくまもと温石病院の薬剤師である森様を講師とし、認知症高齢者へ

の内服等の支援時に必要な基礎知識について Zoom を用い開催しました。

また、見守り模擬訓練は高齢者見守り事業とともに、SOS ネットワークの協力事業所を対象とした認知症の普及啓発及び模擬訓練を行いました。

#### イ 認知症サポーター養成事業

養成講座の開催実績は、年間 6 回、167 人を養成しました。(令和元年度は 10 件、314 人養成)

新型コロナ禍において、状況をみながら、感染予防対策のほかに、事前申し込み制や人数制限、オンライン開催など工夫をして開催しました。

その他に、他機関のキャラバンメイトとの講座打ち合わせにおいて、オンライン開催が可能かのアンケートを実施しました。アンケート実施の時点では、オンライン会議をまだ行ったことがない事業所が多い状況でしたが、オンライン会議を提案した場合の参加は可能と事業所が多い結果でした。今後のコロナ感染状況に応じて、認サポの打ち合わせや講座のオンライン開催も積極的に行っていきたいと思いました。

#### ウ 認知症高齢者見守り事業

新規登録者が 12 件。年度末に登録者の現況調査を実施、併せて、登録継続の意思確認を行いました。新たな取り組みとして、現在登録している協力事業所等へ SOS ネットワークを活用した模擬訓練を実施して、改めて事業の理解や協力体制の強化を図りました。その他、12 月に宇城圏域認知症高齢者等 SOS ネットワーク協定を宇土市、宇城市、美里町で締結しました。

#### エ 認知症初期集中支援推進事業

定期的にチーム員会議を月 1 回開催。対応件数は 3 件(うち 1 名は前年度継続者)。内容としては、支援する家族も高齢化・認知症であったり、家族・親族間の意思が異なったり変化する等、対象者が持つ課題に加えて対応を考慮・工夫する必要があり、その都度連携して検討を重ね、チーム員活動は 136 回となりました。コロナ禍でも、対象者への関わりは面談を主として実施しましたが、会議は書面や Zoom 会議を取り入れ、感染対策を講じました。

#### ④ 生活支援コーディネーター業務

新型コロナ禍において地域座談会等の開催はできませんでした。個別ケースを通してニーズと社会資源のマッチング、地域の支え合い体制づくりに繋がるような働きかけを行いました。また、地域ケア会議へ生活支援コーディネーターが参加して、地域課題の共有に努めました。

#### ⑤ 在宅医療・介護連携推進事業

対応回数 641 回。内容は退院後の支援が主で、介護保険申請、がん末期在宅支援、認知症の相談、施設入所相談など多岐に亘ります。近隣医療機関からも相談や情報提供が増加し、相談窓口として浸透しています。また、切れ目のない在宅医療介護の提供体制構築に向け、宇土市・宇土地区医師会と協働にて入退院支援における連携ガイドブックと宇土市内の医療機関連携窓口一覧の作成を行い関係機関へ配布、周知を行いました。

(3) 介護予防支援等（事業対象者、要支援1・2のマネジメント業務）

年間の請求実績は要支援1・2が2,197件、事業対象者が677件、年間合計件数は2,874件。センターが直接対応は2,115件、居宅介護支援事業所への委託が759件となりました。

上記件数には含まれませんが、ケアマネジメントBで給付管理は行ったものの、ケアマネジメント費を請求できなかった件数は年間合計660件（センター直接対応分434件、居宅介護支援事業所対応分226件）でした。

（注：ケアマネジメントBの請求月は、初回評価月と3か月毎に行うモニタリング評価月のため、その他の月は給付管理は行いますが評価としての請求はできない。）

(4) 介護保険事業収益と人件費

（単位：円、％）

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益(A)	59,412,500	59,434,100	64,017,980	67,309,990	—
人件費(B)	55,611,149	54,150,709	55,228,520	53,690,915	—
介護保険事業収益と人件費の割合(B/A)	93.6	91.1	86.3	79.8	—

(5) 総括

今年度のセンター全体の相談対応件数は、表1活動実績をみると、8,506件。総件数は年々増加傾向にあります。平成18年に市から委託を受け14年が経過し、当センターに求められる内容も多様化しており、より機能強化、質の向上が求められています。

今後も、様々な資源を把握し、それらを有機的に連携させたうえで高齢者につなぐ核として、地域包括ケアシステムの中心的な役割が担えるようセンターとしてもニーズに応じた適切な支援調整とコロナ感染予防に努めながら、「予防」や「地域見守り」の意識づくり（啓発）を宇土市、関係機関と連携し支援していきます。

表1 活動実績

年度	活動形態			合計	合計のうち 初回相談
	電話件数	来所件数	訪問件数		
令和2年度	4,686	305	3,515	8,506	223
令和1年度	3,278	321	4,395	7,994	218
平成30年度	2,805	325	4,172	7,302	205
平成29年度	2,559	345	4,267	7,171	235
平成28年度	1,688	270	3,579	5,537	275
平成27年度	1,581	220	5,084	6,885	200

## 7 照古苑 ひまわりホーム（地域密着型指定介護老人福祉施設）

定員：29人（ユニット型個室）

入居者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入居者及びご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。前年度には2件の苦情がありましたが、令和2年度は0件とすることができました。また、事故件数も3桁（104件）から2桁（83件）と減少させることができました。しかし、依然として事故件数が多い状況は変わらないと考えております。事故が苦情に大きく繋がる要因の一つでもありますので、今後もスタッフ教育等の充実を図り、事故件数を減らす努力を行ってまいります。

夜間は、夜勤職員2人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。現在は、喀痰吸引について、研修を受けた介護職員の退職により、配置医師・看護職員の指示の下で、看護職員と介護職員が協働して実施することができない状況となっておりますので、その状況を解消するため早急に態勢を整えていきたいと考えます。

年間稼働率は、令和2年度は11件の入居があり、そのうち特例入居が3件ありました。新規入居者受け入れ時の空床期間は、11件すべて1週間以内で調整することができました。入院件数についても11件あり、そのまま退居されたケースが6件でした。入院期間について早い方は1週間以内で長い方でも2週間ほどで施設へ戻られる調整ができ、空床期間が少なくなるような調整を行うことができました。今後もスムーズな入居調整を実施してまいります。

入居者状況について、入居者の男女比率は前年度と大きな違いはありませんでした。

入居待機者の状況についても昨年度と変わりなく、男性の比率が高くなっています。今後も熊本県特別養護老人ホーム入所者取扱指針に則したひまわりホーム入居取扱指針に沿ってバランスの取れた入居調整を行ってまいります。また、退居後に再度入居受入れを行ったケースが3件でしたが、ご家族や医療機関との連携を密に行い、スムーズな調整ができました。

その他、入居申込者30名以上の確保維持ができました。今後も居宅介護支援事業所や病院等から入居申込を頂けるよう密に連携を取ってまいります。

### （1）入居者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度			在籍期間（年）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R2年度	5	24	29	85.2	90.1	89.2	3.6	4.16	4.06	1.45	2.91	2.66
R1年度	3	26	29	93.7	89.4	89.8	3.3	4.1	4.03	1.11	2.54	2.4
H30年度	3	26	29	94	90.3	90.7	3.5	4.2	4.1	0.69	2.51	2.32
H29年度	2	27	29	87.0	90.1	89.9	3.0	4.0	4.0	2.37	2.38	2.37
H28年度	3	26	29	86.3	91.1	90.4	3.5	3.7	3.7	2.14	2.20	2.19
H27年度	3	26	29	83.7	89.6	89.0	4.0	3.6	3.7	1.69	1.67	1.67

### （2）入退居の推移

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
退居者数	8人	7人	11人	8人	10人	11人
入居者数	8人	7人	10人	9人	10人	11人

## (3) 新規入居者の状況

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
平均介護度	3.4	3.4	4.4	3.8	3.8	4.09
平均年齢	88.5	88.7	86.0	90.1	86.2	86.2

## (4) 入居前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住（グ ループホーム 等）	その他 （特養他）	合計
R2年度	3人	4人	4人	0人	0人	0人	11人
R1年度	3人	2人	3人	2人	0人	0人	10人
H30年度	0人	1人	7人	1人	0人	0人	9人
H29年度	2人	2人	1人	2人	2人	1人	10人
H28年度	1人	0人	0人	1人	0人	5人	7人
H27年度	1人	1人	1人	2人	0人	3人	8人

## (5) 退居の事由

年度	看取り	急変	入院死亡	入院退居	在宅、有料 老人ホーム他	合計
R2年度	4人	0人	0人	7人	0人	11人
R1年度	6人	0人	0人	4人	0人	10人
H30年度	1人	1人	2人	4人	0人	8人
H29年度	3人	1人	1人	5人	1人	11人
H28年度	2人	0人	1人	2人	2人	7人
H27年度	2人	0人	0人	5人	1人	8人

## (6) 入居待機者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R2年度	20	22	42	83.6	84.6	84.6	3.5	3.27	3.38
R1年度	17	21	38	81.4	87.1	84.2	3.3	3.3	3.3
H30年度	13	23	36	84.0	88.0	86.0	3.4	3.2	3.3
H29年度	6	18	24	86.0	78.6	82.3	3.5	2.8	3.2
H28年度	4	23	27	92.5	85.8	89.2	3.0	3.7	3.4
H27年度	7	21	28	83.0	86.5	84.8	4.0	3.4	3.7

## (7) 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	97.1	99.2	103.2	100.0	99.3	98.0	99.2	97.7	99.1	100.0	102.2	100.0	99.59
R1年度	99.5	95.5	91.7	98.7	100.0	96.7	95.6	99	96.1	96.8	99.5	98.9	97.3
H30年度	100.0	98.1	94.6	97.3	96.4	98.0	98.9	98.8	96.8	97.3	98.8	98.7	97.8
H29年度	97.2	98.7	97.1	98.1	97.2	97.2	94.7	94.6	98.9	96.3	97.4	100.0	97.3
H28年度	100.0	100.8	102.8	100.0	100.0	100.0	98.8	97.2	95.1	99.3	99.0	99.4	99.3
H27年度	97.8	98.4	97.7	100.0	98.8	99.4	98.1	99.0	93.9	98.8	99.5	100.0	98.4

## (8) 安全対策

## 事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	1	0	1	0	—
転落	0	2	2	0	—
その他	25	28	15	18	—
(骨折)	(0)	(1)	(1)	2	—
外傷	14	17	58	46	—
薬関係	7	7	17	13	—
食事関係	1	2	11	4	—
離設	0	1	0	0	—
医療関係	0	0	0	0	—
合計	48	57	104	83	—
市町村報告	0	3	16	14	—
インシデント	3	39	42	57	—

## (9) 介護保険事業収入と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収入(A)	135,924,509	142,486,835	143,420,104	151,530,624	—
人件費(B)	117,066,706	114,580,835	135,861,655	133,339,811	—
介護保険事業収入と人件費の割合(B/A)	86.1	80.4	94.7	88.0	—

## (10) 保健所に報告したインフルエンザ感染の状況

当年度中のインフルエンザの感染者は、職員及び入所者ともにありませんでした。

## (11) コロナウイルス感染症防止対策

職員及び入所者の陽性者はありませんでした。

感染防止対策は、特別養護老人ホーム照古苑と同様です。

## 8 照古苑ひまわりホームショートステイ（短期入所）

定員：10人（ユニット型個室）

日中は職員3人体制、夜間はフロアに1名職員を配置し、ご利用者の状態把握や状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

### （1）利用状況

前年度の稼働率と比較すると当年度の稼働率は1.6ポイントの増加でした。短期入所の居室は10床ありますが、ショート枠を使用して特例入居を受け入れたことで9床での営業を行う日がありました。内訳としては、5月27日から7月7日の41日間と11月25日から27日の2日間、2月10日から2月27日の18日間です。61日間は9床での営業でしたので、若干ですが稼働率に影響したと考えます。今後も入居の状況や短期入所の状況を見ていながら営業を行ってまいります。

また、次期入居決定者のロングショートでの受け入れやご家族や利用者様、居宅支援事業所のニーズに合ったサービスを行い選ばれる事業所になるように利用調整を行ってまいります。

表1 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	66.7	74.2	62.0	82.3	82.3	70.7	65.8	81.0	76.5	81.6	85.4	80.6	75.7
R1年度	67.7	77.1	67.3	73.9	76.8	65.3	66.8	62.7	74.8	79.0	89.3	88.7	74.1
H30年度	73.3	63.9	78.3	69.7	92.6	86.3	86.5	88.3	86.1	90.6	96.8	75.5	82.3
H29年度	87.0	89.3	84.0	88.0	88.0	83.5	82.5	80.6	84.8	75.8	85.0	87.7	85.5
H28年度	92.6	102.9	78.5	87.5	77.0	78.6	82.2	79.6	79.3	69.6	93.5	95.8	84.8
H27年度	69.3	62.2	61.0	64.5	62.2	48.7	61.6	63.0	65.4	71.9	67.5	76.1	64.5

表2 利用者の平均介護度

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
平均介護度	1.9	2.1	2.2	2.1	2.5	2.3

（要支援1、2を除く。）

### （2）介護保険事業収益と人件費

（単位：円、%）

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益（A）	38,844,497	37,337,239	34,160,488	37,237,519	—
人件費（B）	34,513,846	28,973,112	23,781,825	22,011,412	—
介護保険事業収益と人件費の割合（B/A）	88.9	77.6	69.6	59.1	—



(3) 事故件数

事 故	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
転 倒	0	0	0	1	—
転 落	0	1	0	0	—
その他	5	5	5	6	—
(骨 折)	(1)	(0)	(1)		—
外 傷	1	3	9	6	—
薬関係	1	3	8	1	—
食事関係	0	3	1	0	—
離 設	0	2	1	0	—
医療関係	0	0	0	0	—
合 計	7	17	24	14	—
市町村報告	1	0	8	1	—
インシデント	1	0	11	8	—

## 9 照古苑ひまわりホームデイサービス（通所介護）

定員：25人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士1名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図っています。

### （1）利用状況

デイサービスの年間利用者数は、1日平均18.5人でした。新型コロナウイルス感染症により、4月から9月までは利用を控える方が多くありましたが、10月からは他の通所介護事業所の閉鎖もあり、新規利用者が増加。定員を25名から30名へ変更する事となりました。10月から3月にかけての増加にて、前年度の17.3人から1.2人増加致しました。利用者の平均要介護度は、昨年度の1.8より0.2ポイント上がり2.0でした。

表1 1日当たりの平均利用人数

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R2年度	14.5	15.2	16.5	16.7	17.0	16.7	22.3	22.2	21.9	20.0	18.9	20.0	18.5
R1年度	17.2	17.5	18.4	19.3	18.2	17.8	17.2	18.3	18.0	16.4	15.2	13.7	17.3
H30年度	14.6	14.7	15.3	17.7	17.2	17.6	17.0	17.8	17.0	16.8	17.5	18.1	17.3
H29年度	15.8	16.3	16.5	17.9	17.8	17.4	19.2	19.8	18.5	16.8	18.0	17.0	17.6
H28年度	11.6	12.7	12.4	13.4	13.9	13.7	14.0	13.9	14.1	14.2	16.2	16.3	13.9
H27年度	11.2	11.5	10.1	9.6	10.8	11.1	11.7	11.8	11.3	10.2	10.6	10.5	10.9

表2 利用者の平均介護度

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
平均介護度	1.8	1.5	1.6	1.9	1.8	2.0

### （2）介護保険事業収益と人件費

（単位：円、%）

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益 (A)	46,226,279	47,881,943	48,206,808	54,635,395	—
人件費 (B)	34,071,631	38,321,316	34,381,051	32,902,863	—
介護保険事業収益と人件費の割合 (B/A)	73.7	80.0	71.3	60.2	—

(3) 事故件数

事 故	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
転 倒	1	0	3	3	—
転 落	0	0	2	1	—
その他	1	8	1	4	—
(骨 折)	(0)	(0)	(0)	0	—
外 傷	0	1	5	5	—
薬関係	1	0	1	0	—
食事関係	0	0	0	0	—
離 設	0	0	1	1	—
医療関係	0	1	0	0	—
合 計	3	10	13	14	—
市町村報告	0	7	4	3	—
インシデント	1	0	19	9	—

### Ⅲ たんぽぽ事業報告

#### 1 たんぽぽ保育園

##### (1) 保育所の運営

① 定員 110人

② 学年別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	8	8	10	10	11	12	14	15	15	15	15	15	148
1歳児	22	22	21	22	22	23	23	22	23	23	23	23	269
2歳児	19	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20	20	233
3歳児	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	298
4歳児	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
計	121	121	123	124	125	127	129	130	131	131	131	131	1,524

##### (2) 職員

① 職員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
令和2年度	15人	18人	15人	18人
令和元年度	14人	14人	14人	17人
平成30年度	13人	18人	13人	17人
平成29年度	14人	14人	14人	13人
平成28年度	13人	14人	13人	14人

② 職員配置

(R3.3.31)

職名	正規職員	非正規職員	計
園長	1人	—	1人
副園長	1人	—	1人
主任保育士	1人	—	1人
副主任保育士	1人	—	1人
保育士	8人	13人	21人
保育助手	—	2人	2人
看護師	—	1人	1人
栄養士	1人	—	1人
調理員	1人	2人	3人
事務員	1人	—	1人

(3) 行事等の開催

主な行事等の開催状況

実施月日		行 事 名
4月	4日	入園式
	14日	園医健康診断
5月		
6月	16日	じゃがいも収穫
	22日	さつま芋苗植え
7月	2日	プール開き
	6日	七夕まつり ぴかぴか教室
	17日	夏の体験活動
	29日	歯科検診
8月		
9月	25日	園児検尿検査
10月	3日	運動会
	9日	園医健康診断
	27日	ハロウィンパーティ
	30日	秋の遠足
11月	5日	芋掘り
	6日	パレット人形劇 (おむすびころりん)
	17日	花園小学校との就学時伝達会
	25日	花園小学校就学児検診
12月	5日	発表会
	24日	クリスマス会
1月		
2月	1日	節分 (豆まき)
	27日	ひなまつり茶会
3月	2日	ひなまつり
	4日	お別れ遠足
	9日	交通安全教室 (年長児)
	13日	令和3年度入園説明会
	15日	花園小学校連絡会 (花園小学校より2名)
	27日	卒園式
	29日	新クラススタート

※毎月英語教室 (3・4・5才児)

※〃 体育教室 (4・5才児)

※5月～1月茶の湯 (5才児)

(4) 地域連携

※例年実施していた施設訪問は新型コロナウイルス感染症予防のため中止。

※子育て支援の開催は中止し、子育て支援たんぽぽ通信と手作りおもちゃ等の配布を行った。

(5) 災害対策

避難訓練の状況

実施月	避難訓練		
4月	災害時の説明・ベルの音実施	10月	火災避難訓練・不審者訓練
5月	火災避難訓練	11月	地震・火災避難訓練
6月	火災避難訓練・不審者訓練	12月	火災避難訓練
7月	地震避難訓練	1月	火災避難訓練
8月	火災避難訓練	2月	地震避難訓練
9月	地震避難訓練	3月	地震・津波避難訓練

(6) 人材育成

職員個人のスキルアップ及び保育園全体の組織力向上等を目的として、園内研修を実施するとともに、園外での研修に積極的に参加しました。

① 園内研修の状況

実施月	研修名	参加人数
毎月	運営委員会	各10名
6月・9月・2月	総括 ・ 課題を持つ子どもについて 各年齢の遊びについて	各クラス
年10回	新規採用保育士指導 (主任保育士)	1名
6月・10月・11月・12月	福岡コダーイ芸術教育研究所より来園 講師 川内先生勉強会 (以上児・未満児別)	各9名 ～12名
6月	わらべうた勉強会・不審者対応訓練 (全職員)	10名
7月	以上児勉強会	9名
8月	新型コロナウイルス感染症発症等の対応について	10名
10月	不審者対応訓練	全職員
11月	わらべうた勉強会	12名
12月	わらべうた勉強会	9名
3月	保育課程・危機管理マニュアル	全職員

② 園外研修の状況

実施月	研修名	参加人数
8月	保育協会管理者研修会	2名
9月	熊本市保育連盟看護師等研修会	1名
10月	宇城管内 幼・保等・小・中連携セミナー	1名
11月	保育協会新任保育士研修会	1名
12月	コダーイ園長・主任定例研究会 (WEB)	3名
	保育協議会後期食育「食物アレルギー研修会」	1名
1月	コダーイ園長・主任定例研究会 (WEB)	3名
2月	コダーイ園長・主任定例研究会 (WEB)	2名
	保育協会保育所運営経理研修会 (WEB)	2名
	保育協議会給食部会次期地区委員会	1名
3月	保育協議会保育士部会次期地区委員会	1名
	児童福祉施設食育・給食担当者研修会 (WEB)	1名
	保育協会臨時総会・研修会	1名

(7) 短時間保育及び延長保育

① 短時間保育の状況

- ・保護者の短時間就労
- ・短時間保育 午前8時30分～16時30分の預かり
- ・令和2年度短時間保育利用者数総数 … 829名
- ・開所時間 午前7時～午後7時
- ・保育時間 午前7時～午後6時
- ・延長保育 午後6時～午後7時
- ・令和2年度延長保育利用者総数 … 851名

## 2 五色山学童クラブ

### (1) 学童クラブの運営

① 定員 50人

② 学年別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
2年生	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	122
3年生	9	9	9	9	9	9	9	8	7	7	7	7	99
4年生	2	2	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	7
5年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	33	33	31	31	31	30	30	29	28	28	28	28	360

### (2) 指導員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
令和2年度	—	3人	—	2人
令和元年度	—	4人	—	3人
平成30年度	—	4人	—	4人
平成29年度	—	4人	—	4人
平成28年度	—	4人	—	4人

### (3) 行事等の開催

① 主な行事等の開催状況

実施年月日	行事・遊び
8月 3日	絵手紙教室
10月 26日	ハロウィーンパーティー
12月 25日	クリスマス会・読み聞かせ
3月 31日	新入所学童説明会(随時) 退所式 お別れ会(カレー会)

② その他の行事

ボランティアの方の読み聞かせ	7月・10月・12月
英語教室	4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月
茶の湯	6月・7月・8月・9月・10月



#### IV 事業報告書の附属明細書

令和2年度事業報告書には、定款第34条第1項第2号に規定する附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しないこととしました。